社会基盤整備・防災対策特別委員会 記 録										
1 会議の日時	開 会 午前 9 時 5 8 分 令和 4年10月 5日 閉 会 午前 11 時 0 5 分									
2 会議の場所 議会西棟 第2会議室										
	委員長 猫田 孝 副委員長 野 島 征 夫   委員 藤 墳 守 川 上 哲 也 小 原 尚 高 木 貴 行 若 井 敦 子 森 治 久 藤 本 恵 司 所 竜 也 ( ) は欠席委員									
3 出 席 者	執 行 別 紙 配 席 図 の と お り 部									
4 事務局職員	係長 市橋 ますみ 主査 水野 恵									

5	会議に付した案件	
	件名	審査の結果
1	社会基盤整備・防災対策特別委員会中間報告に対する対応状況について	
2	岐阜県公共施設等総合管理基本方針の評価結果について	
3	その他	

#### 6 議事録(要点筆記)

# ○猫田 孝委員長

ただいまから、社会基盤整備・防災対策特別委員会を開会する。

本日の委員会は、令和3年3月に知事へ提言した社会基盤整備・防災対策特別委員会中間報告に対する 対応状況について及び岐阜県公共施設等総合管理基本方針の評価結果について、執行部の説明を聴取する ため、開催したものである。委員におかれては、積極的に意見をお願いする。

なお、本日の執行部の説明員については、それぞれの関係部局に限って出席いただいている。

最初に、社会基盤整備・防災対策特別委員会中間報告に対する対応状況について、執行部の説明を求める。

(執行部 挨拶・説明)

# ○猫田 孝委員長

ただいまの説明に対して質疑はないか。

○川上哲也委員

広域物資輸送拠点である飛騨エアパークには、建物や倉庫など屋根のある建物がないが、雨天・荒天時 にどのように対応するのか。

○横山防災課長

飛騨エアパークについては、仮設テントを設置して対応することとしている。

○猫田 孝委員長

県立高校の数はどのくらいあるのか。

○小野教育次長

63校である。

○猫田 孝委員長

県立高校で建替えが終了している学校数と再整備の現状は。

○井上教育財務課長

建替えは昭和30年代に建設された校舎を平成23年度末までに9校14棟で実施した。その後、中国四川省の地震を受けて耐震補強に方針を切り替えた。現在は、昭和30年代に建設された校舎のうち6校6棟の建替えを順次計画的に進めているところである。

○猫田 孝委員長

現在県立高校の統廃合の計画はあるか。

○小野教育次長

現段階では具体的な計画はない。令和6年度からの第4次教育ビジョンの策定に向け、地域活性化に学 校再編が及ぼす影響など様々な観点から整理を進めているところである。

○野島征夫副委員長

リニア活用戦略は3本柱の構成となっているが、漠然としており、もっと具体的で大胆な発想が必要だと考える。リニアで東京から30分になるため、千旦林エリアを開発してベッドタウン化、高層マンションの建設等を打ち出すべきでないか。また、首都機能の移転については想定していないのか。

○伊藤リニア推進室長

平成26年に現行の活用戦略を策定して以来、3本柱に基づき濃飛横断自動車道の整備、企業誘致等、オール岐阜で取り組んできている。首都機能の分担については、現行の活用戦略にも盛り込まれているが、

東濃地域の強固な地盤を活かした都市機能の誘致について引き続き検討していく。ベッドタウン化等まちづくりについては、リニア駅周辺をはじめ、恵那市、瑞浪市等東美濃において現在検討されており、その 状況は活用戦略改訂の説明の際に報告させていただく。

#### ○小原 尚委員

新庁舎について、材料費の高騰等があったが、最終的に当初予算と比較してどうなったか。

## ○長井県庁舎建設課長

行政棟、議会棟の建設費は、当初予算が524億円であり、途中2回インフレスライドにより、契約額を 増額したが、最終契約額としては496億円となっている。

# ○猫田 孝委員長

質疑も尽きたようなので、これをもって社会基盤整備・防災対策特別委員会中間報告に対する対応状況 について終了する。今回のフォローアップを通して、必要な施策を令和5年度当初予算へ反映させるなど、 より一層の社会基盤整備及び防災対策を図られるようお願いする。

#### (執行部入替え)

# ○猫田 孝委員長

次に、岐阜県公共施設等総合管理基本方針の評価結果について、執行部の説明を求める。

#### (執行部説明)

#### ○猫田 孝委員長

ただいまの報告に対し、質疑はないか。

橋梁における主な長寿命化対策の内容はどのようものか。

#### ○戸田道路維持課長

洞戸橋において車両防護柵の取換え、志も野橋において上部工の塗装塗り替え、大洲谷橋において上部 工の塗装塗り替え、床版の欠損補修を実施した。

## ○猫田 孝委員長

大垣で橋の架替えを行っている箇所があるが、わずか25m程度の橋の架替えに6年、15億円程度かかる。 仮橋が必要な場合もあり橋の架替えは大変な仕事である。架替えが必要な橋が大垣だけでも2~3箇所あ る。橋だけでも大変なのに、その他の建物などもあり、維持修繕には多額の経費が必要となる。

#### ○高木貴行委員

太陽光パネルの導入について、地元の高等学校1校で設置したということくらいで、新たに設置したという話はあまり聞こえてこない。国が脱炭素を掲げているなか、県での取組が進んでいないように思うが現状はどうか。

#### ○古田管財課長

脱炭素に関する取組は、温室効果ガス排出抑制率先実行計画により県全体で進めているところであり、 太陽光パネルの設置もその1つと考えている。実際の設置にあたっては、建物の耐用年数や耐荷重等様々 な点を考慮する必要があり、また、パネルを設置して得られる電気をどのように建物内で使用していくか 等全体イメージの整理も必要である。現在、脱炭素社会推進課とも相談しているところである。具体的な 設置場所まで決めていないが、協議しながら進めていきたいと考えている。

#### ○高木貴行委員

この議論は2年くらい前からしている。その間にエネルギー価格が上昇しており、2年前に取り組んでいれば県にとってプラスの部分があったかもしれない。関係課との協議や整理はいつ終わるのか具体的に教えてほしい。

また、資料記載の「エネルギー消費効率が優れている設備の導入」というのは電球をLEDに変えるといった単純なことを言っているのか。

#### ○古田管財課長

太陽光パネルに関しての協議、調整ができる時期というのは、現時点でお答えすることは難しい。設置にあたっては予算措置も必要となるため、どのように導入すると効率的なのか、経費を有効に使えるかなど踏まえて検討していきたい。整理ができたらご報告をさせていただく。

エネルギーの効率化に関しては、照明器具のLED化のほか、直接的ではないがRE30の導入といったものを組み合わせながら、進めているところである。

# ○川上哲也委員

県有施設の長寿命化をしていく中で、使用期間を50年から65年に延ばしても、負担が先になるだけで、 その時に再整備する建物が増えるだけではないか。

## ○古田管財課長

建築後50年で建て替えを行うと特定の時期に一気に財政負担が大きくなるため、予防保全を行いながら65年まで使用期間を延ばしていくことを目指しているところである。耐用年数を超えて使用する場合も想定しており、例えば、技術職員による現地確認や建築基準法第12条の点検結果等から建物や設備の状況を把握し、今後どの程度使用できるかなども整理をしている。65年で再整備するのか、行政需要の変化等から前倒して再整備するのか、それとも更に長く使用するのかを、建物ごとに判断をし、財政負担の平準化の観点も踏まえて、再整備の計画を立てる必要があると考えている。

### ○川上哲也委員

道路橋梁について、長寿命化対策により使用期間を延伸した結果、架替え時期が集中することになるのではないか。

#### ○戸田道路維持課長

道路橋梁については、5年に一度の法令に基づいた定期点検を行いながら、なるべく現在の橋梁を長寿 命化させる方針で対策を進めているが、点検の結果、早急に措置が必要な橋梁については、架替えを含め、 経済比較等を行い対策を決定している。

#### ○藤墳 守委員

公共建築物は65年を基準に建て直しを検討していくとの説明であったが、現県庁舎は50年程度で建て替えを行っている。

#### ○渡辺総務部次長

ご指摘のとおり、現庁舎は50年程度で建て替えを行っているが、建物の劣化度と併せて、災害対策の中枢拠点としての機能維持という観点からも検討を行い、建て替えを決定したものである。

### ○藤墳 守委員

新県庁舎の色彩は誰が決めたのか。

## ○渡辺総務部次長

設計会社から提案をいただき、最終的に県が決定している。床、壁、天井等建物の内部空間、配置する 付器の色等、総合的に判断して決定している。

#### ○藤墳 守委員

昨日の新県庁舎の視察で見たが、シックさがないと感じた。

#### ○渡辺総務部次長

昨日の視察先は1階など来庁者をお迎えするフロアが多かったため、明るい色調の印象をお持ちになっ

たかと思われるが、その他、執務等を行うフロア等は、職務に集中できるよう色調を落としたシックなものとしている。

# ○藤墳 守委員

シックな部屋もあるということか。

## ○総務部次長

そのとおりである。

# ○猫田 孝委員長

質疑も尽きたようなので、これをもって岐阜県公共施設等総合管理基本方針の評価結果について、終了する。

次に、その他として、事前に申し出のあった岐阜県庁舎再整備事業の全体概要について、執行部から報告を受ける。

#### (執行部説明)

# ○猫田 孝委員長

ただいまの報告に対し、質疑はないか。

### ○森 治久委員

新県庁舎に県産材、県産品はどの程度使用されているのか。

## ○長井県庁舎建設課長

全体の使用割合については現在、精査中であるため、後日、ご報告させていただく。 なお、主な建材で県産材、県産品を使用したところは、タイルを外壁や内部の床等に、木材をエントランスや応接室の壁等に、和紙については、一般の方が利用するエリアのエレベータ前の壁等である。

# ○猫田 孝委員長

質疑も尽きたようなので、これをもって、本日の委員会を閉会する。

# 社会基盤整備・防災対策特別委員会 配席図 (前半)

令和4年10月5日(水)午前10時~ 議会西棟 第2会議室

ı							<u> </u>		1			
	岩田		中川		<b>佐</b> 藤		林	派 i	度 刀			田 原
	教育 整備 監 監 監		教育総務課		設備管理監 門里監		幹線道路 企画 監	1	<b>きまります。</b> きょうしょう ままま いっぱい ままい いっぱい こうしょ しょう かいかい こうしょ しょう はい はい こうしょう はい こうしょう はい こうしょう はい こうしょう はい こうしょう はい こうしょう はいしょう はいしょう はいしょう はいしょう はいしょう はいしょう はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいまい はいま			用
	後藤		伊藤		川嶋		岩井	ì	±			長井
	警務課長		リニュ ア 注 室 を 長	失 交 通	建築指導課長		河川課長	[3] 記	少方果			県庁舎建設 課長
入	早 野		井上		崎 浦		戸田		黄 山			青 木
側	装備施設課長		教育財務課長		都市政策課長		道路維持課長	ジ 記	方段果長			<b>準備課長</b> 集開設
	-14		<b>*</b> 0			<b>≠</b> n			_			÷
	水 野		朝倉			和 田		日	B			高 橋
	整備局 副局長		都市建築部			県土 整備 部 次長		官員記述	からない ままり ままり ままり ままり ままり ままり ままり ままり ままり まま			財 政 張 長
	**			I					=			
	葛 飾		小 野			尾鼻		_	<u> </u>			渡 辺
	警察本部総務室長		教育次長			総務部長		矛 音 ど	総 祭 形 欠 長			総務部次長
	所委	員	0						0		泰	本委員
	森(治)	委員	0						0		若:	井委員
	高木委	ē員	0						0		/J\/	京委員
	川上委	員	0						0	j	獉	賁委員
		L			0		0					
			ľ	野.	島副委員	長	苗田委員县	Ę				

# 社会基盤整備・防災対策特別委員会 配席図 (後半)

令和4年10月5日(水)午前10時~ 議会西棟 第2会議室

	難飼 都市公園課 堀 住宅	岡田 水道企業課長 酒井 下水		松井 道路管理 戸田 道路		上谷 技術管理監 岩井 河川		山内 土砂災害 辻 砂防課	
	宅課長	水 道 課 長	道 課 長			課 長	砂 防 課 長		
	岩	田		渡		田		高野	
入 口	教教		中 森		辺 県管 有財		原 用監財管		
側	育育 施財 整設務 備 監	₩ 保全 課 長	森林保全課長			対兼産財 策新活開 監庁企 運画	務 課 長 局		
	神出	長井		青木		古田		早 野	
	教育研修課長 総合教育セン	県庁舎建 課長	广 舍 建 課設			管財課長	装備施設課長		
	# 上	渡辺		尾鼻		三木		高橋	
	教育財務課長	総務部次長	務 部 次			総務部次長		財政課長	
	所委員	0				0	藤	本委員	
	森(治)委員	0				0	若	井委員	
	高木委員	0				0	\J\)	原委員	
	川上委員	0		<u> </u>		0	藤均	<b>責委員</b>	
		野	〇 場副委員	長 猫	O 苗田委員:	Ę			